

令和8年度

あおもり県民カレッジ認定講座



社会教育実践力向上 研修講座

ネットワーク形成

課題解決

資質向上

地域課題の把握

生涯学習・社会教育関係職員の資質向上とネットワーク形成を目的とした研修です。
業務に必要な基礎・実務知識に加え、地域課題の把握から解決につながる
実践的なスキルを習得できます。

対象

市町村教育委員会の生涯学習・社会教育担当職員および
公民館職員等 ※指定管理者も含まれます

日程

2026年4月～2027年2月

※詳しくは裏面をご覧ください

定員

30名程度

※講義のみ、アーカイブで後日視聴も可能です。



お申込み方法

右記二次元バーコードを読み込み、必要事項をご入力の上お申込みください。

電子メールでのお申込みの方は、氏名・所属・職名・連絡先電話番号・
受講方法を記載のうえ以下のアドレスへ送信してください。

E-SHAKYO@pref.aomori.lg.jp

お申込み締切／各講座実施日の1週間前まで



主催／青森県総合社会教育センター

社会教育の基本理念を学ぶ

社会教育と生涯学習の目的や意義を基礎から学べる講座です。地域で学びの場が求められる背景や社会教育の重要性を、分かりやすく解説します。新任職員の方や、基礎から学び直したい方におすすめの内容です。また、4月・2月両方の受講がおすすめです。

4/28 [火] 10:00~15:00 第2教材開発室

講義・演習 社会教育のきほんのき

東京都大田区・北区教育委員会で11年間、社会教育指導員として区民大学や日本語教育などに従事。2020年より弘前大学教育学部准教授。青森県・弘前市の社会教育委員等を務め、地域の社会教育推進に尽力。

弘前大学 教育学部
准教授 越村 康英 氏



2/19 [金] 10:00~15:00 第2教材開発室

講義・演習 社会教育がつなぐ地域づくり

東京都大田区・北区教育委員会で11年間、社会教育指導員として区民大学や日本語教育などに従事。2020年より弘前大学教育学部准教授。青森県・弘前市の社会教育委員等を務め、地域の社会教育推進に尽力。

弘前大学 教育学部
准教授 越村 康英 氏



社会教育の多様なニーズへ対応する

多様化する社会教育のニーズに対応するための専門的な知識と視点を学ぶ講座です。地域や現場で求められる課題解決力を養い、実践に役立つ具体的な手法を分かりやすく解説します。実務力を高めたい方や、社会教育の発展に貢献したい方におすすめです。

6/5 [金] 10:00~15:00 第10研修室

講義・演習 効果的なチラシ作成のポイント

Webサイトや紙媒体の企画・制作から活用提案、運用支援まで一貫して手がける。クリエイター向けセミナーや経営者向け講演も実施。「伝えるチカラで地域と人をつなぐ」をモットーに、効果的なPR手法を追求している。

ディーシーティーデザイン
代表 蝦名 晶子 氏



6/26 [金] 10:00~15:00 第2教材開発室

講義・演習 ゆるやかなつながりからはじめる地域づくりの実践

2007年に一関市へUターンし、いちのせき市民活動センター長として市民活動・コミュニティ支援に従事。行政と住民の協働による地域づくりを推進。震災後は復興センター設立など住民主体の復興支援に取り組む。

いちのせき市民活動センター
センター長 小野寺 浩樹 氏



7/17 [金] 10:00~15:00 第2教材開発室

講義・演習 次代の地域を担う若者の育成

東京大学大学院教育学研究科教授などを歴任し、2023年より大正大学地域創生学部教授。中央教育審議会委員等を務め、社会教育・生涯学習・まちづくりを専門とし、自治体との共同研究や地域創生に取り組む。

大正大学 地域創生学部 教授
東京大学 名誉教授 牧野 篤 氏



11/4 [水] 10:00~15:00 第2教材開発室

講義・演習 生成AI活用アイデアと社会教育での実践方法

Web企画・制作・コンサルに従事しつつ、障がい者や教育現場でのICT活用を研究。研修講師やアクセシビリティコンサルも担い、スマホ講習や指導者育成に注力。活動はモバイルプロジェクト・アワード2014社会貢献賞を受賞。

エイチピースタイルング
代表 高森 三樹 氏



11/12 [水] 10:00~15:00 第2教材開発室

講義・演習 共に学び支えあう社会教育の実践

2008年より桐蔭横浜大学助教、文教大学講師を経て2016年より同大学准教授。文部科学省調査官や青少年教育振興機構副センター長等を歴任。社会教育・青少年教育を専門とし、著書に『社会教育の学習論』など。

文教大学 人間科学部
教授 青山 鉄兵 氏



12/3 [水] 10:00~15:00 第2教材開発室

講義・演習 防災の基本理念と地域の役割

1994年より男女共同参画活動を開始。震災後は防災とジェンダーの視点で人材育成や避難所運営支援を展開し、延べ3.5万人以上に実施。「誰一人取り残さない地域づくり」に貢献し、ジャパンSDGsアワード特別賞を受賞。

一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと
代表理事 小山内世喜子 氏

